【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2006-108744(P2006-108744A)
【公開日】平成18年4月20日(2006.4.20)
【年通号数】公開・登録公報2006-016
【出願番号】特願2004-288454(P2004-288454)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/63　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/44　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/60　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/63　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/44　Ｍ
Ｈ０４Ｎ　5/60　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月15日(2009.1.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
テレビジョン放送を受信し、映像信号と音声信号を出力する受信手段と、
この受信手段から出力される映像信号に基づく映像を表示する映像表示手段と、
前記受信手段から出力される音声信号をミュートするミュート手段と、
前記映像表示手段に動作電源を供給する第１の電源回路と、前記受信手段に動作電源を供給する第２の電源回路とを有する電源部と、
前記電源部に対して、動作電源を供給するオン状態と、動作電源の供給を停止するオフ状態とにすべく指令を発する電源切換指示手段と、
前記電源切換指示手段により前記電源部をオン状態からオフ状態に切り替える指令を受けたとき、前記第１の電源回路をオフ状態として前記映像表示手段への動作電源の供給を停止するとともに、前記ミュート手段を駆動して音声信号の出力をミュートし、前記電源切換指示手段により前記電源部をオン状態からオフ状態に切り替える指令を受けてから所定時間は前記受信手段が動作し、前記所定時間が経過したときに前記第２の電源回路をオフ状態として前記受信手段への動作電源の供給を停止する制御手段と、
を具備したことを特徴とするテレビジョン受像機。
【請求項２】
前記所定時間を計測する時間計測手段と、
前記電源部をオン状態からオフ状態に切り替える指令を受けてから前記受信手段が動作している期間に待機状態であることを表示する待機状態表示手段と、を備えることを特徴とする請求項１に記載のテレビジョン受像機。
【請求項３】
テレビジョン放送を受信し、映像信号と音声信号を出力する受信手段と、
この受信手段から出力される映像信号に基づく映像を表示する映像表示手段と、
前記受信手段から出力される映像信号を減衰させる減衰手段と、
電源回路と、

前記電源回路を、前記映像表示手段に動作電源を供給するオン状態と、前記映像表示手段への動作電源の供給を停止するオフ状態とにすべく指令を発する電源切換指示手段と、
時間計測手段と、
待機状態表示手段と、
前記電源切換指示手段による電源切換指令を受けて前記電源回路をオン状態とオフ状態間で切換えると共に、前記電源回路をオフ状態にする指令を検出して前記電源回路がオフ状態となる前に前記減衰手段を駆動して映像信号を減衰させて前記映像表示手段で表示させ、前記電源回路をオン状態にする指令を検出して前記映像信号の減衰を解除すると共に、オン状態にある前記電源回路をオフ状態にする指令を検出して前記時間計測手段での時間計測を開始し、計測時間が所定時間になるまでの間、前記待機状態表示手段によって待機状態であることを表示させる制御手段と、
を具備したことを特徴とするテレビジョン受像機。
【請求項４】
前記減衰手段は、前記制御手段によって前記映像信号の振幅を入力振幅以下に減衰させる状態と、減衰させない状態とに切換えられるものであることを特徴とする請求項３に記載のテレビジョン受像機。
【請求項５】
前記減衰手段は、前記制御手段によって前記映像信号の前記映像表示手段への供給を断つ状態と、前記映像表示手段への供給を実行する状態とに切換えられるものであることを特徴とする請求項３に記載のテレビジョン受像機。
【請求項６】
前記電源回路が、前記映像表示手段に動作電源を供給する第１の電源回路と、前記受信手段に動作電源を供給する第２の電源回路を含み、
前記制御手段が、電源切換指示手段が電源オン状態を指示している期間及びオフ状態に切換える指令を発してから前記所定期間経過するまでの期間に一方の論理値を出力し、その他の期間で他方の論理値を出力する判定手段を含み、この判定手段が前記一方の論理値を出力している期間に、前記第２の電源回路をオン状態にする制御信号を出力し、電源切換指示手段がオフ状態に切換える指令を発してから前記所定期間経過するまでの期間に、前記待機状態表示手段によって待機状態であることを表示させるものであることを特徴とする請求項３乃至５のいずれかに記載のテレビジョン受像機。
【請求項７】
さらに前記制御手段が、前記第１の電源回路がオフ状態に制御される期間を判定する第２の判定手段を含み、前記判定手段が前記一方の論理値を出力している期間で、かつ前記第２の判定手段によって判定される前記第１の電源回路がオフ状態に制御される期間に、前記待機状態表示手段による待機状態表示を実行させるものであることを特徴とする請求項６に記載のテレビジョン受像機。
【請求項８】
前記電源切換指示手段は、受像機本体に設けられた操作スイッチの電源スイッチによって駆動される手段と、あるいはリモートコントローラからの電源切換信号によって駆動される手段のいずれか一方あるいは両方であることを特徴とする請求項１乃至７のいずれかに記載のテレビジョン受像機。
【請求項９】
前記時間計測手段は、クロックをカウントするカウンタによって構成され、カウントが所定値になったことで所定時間経過したことを判定するものであることを特徴とする請求項２乃至８のいずれかに記載のテレビジョン受像機。
【請求項１０】
前記時間計測手段は、コンデンサと、このコンデンサの端子電圧を基準値と比較する比較器を含み、前記コンデンサの端子電圧が前記基準値を超えるタイミングを所定時間として検出するものであることを特徴とする請求項２乃至８のいずれかに記載のテレビジョン受像機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明のテレビジョン受像機は、テレビジョン放送を受信し、映像信号と音声信号を出力する受信手段と；この受信手段から出力される映像信号に基づく映像を表示する映像表示手段と；前記受信手段から出力される音声信号をミュートするミュート手段と；前記映像表示手段に動作電源を供給する第１の電源回路と、前記受信手段に動作電源を供給する第２の電源回路とを有する電源部と；前記電源部に対して、動作電源を供給するオン状態と、動作電源の供給を停止するオフ状態とにすべく指令を発する電源切換指示手段と；前記電源切換指示手段により前記電源部をオン状態からオフ状態に切り替える指令を受けたとき、前記第１の電源回路をオフ状態として前記映像表示手段への動作電源の供給を停止するとともに、前記ミュート手段を駆動して音声信号の出力をミュートし、前記電源切換指示手段により前記電源部をオン状態からオフ状態に切り替える指令を受けてから所定時間は前記受信手段が動作し、前記所定時間が経過したときに前記第２の電源回路をオフ状態として前記受信手段への動作電源の供給を停止する制御手段と；を具備したことを特徴とする。